

平成28年度 第4学年 授業改善プラン

教科	観 点	課 題	指導の視点	具体的な手立て・改善策
国語	国語への関心・意欲・態度	・漢字の読み、書きが十分に定着していない。	・熟語や文などのまとまりで新出漢字の指導を行い、多くの例に触れさせることで定着を図る。	・国語辞典は常に学校に置いておき、授業中に辞書を引く機会を多く設定し、語彙の拡充を図る。
	話す・聞く能力	・大事なことをしっかり押さえて聞く力の定着が不十分である。	・「話し方」「聞き方」のポイントを意識させながら話し合い活動を多く取り入れて指導する。	・文などのまとまりで練習する習慣を身につけさせ、新出漢字を熟語で定着できるようにする。
社会	社会的思考・判断・表現	・課題を解決するための適切な資料やグラフを選んで読み取ることができない。	・体験的な活動を多く取り入れ、児童が社会事象を身近に感じられるようにする。	・校外学習を多く設定し、身の回りの施設や機器に興味をもち、自分たちの生活にどのように関連しているのかという疑問を想起しやすいようにする。
	社会的な思考・判断・表現	・課題を解決するための適切な資料やグラフを選んで読み取ることができない。	・ICT機器を活用しながら、児童自らが考え、予想を立て、調べ、解決していく機会を多くする。	・「問題把握」「予想」「調べる」「まとめる」といった問題解決型の学習を積極的に取り入れ、児童自らが考えたり課題を見つけたりするような授業を展開する。
算数	算数への関心・意欲・態度	・問題解決場面で、一つの考えにとらわれてしまい、他の考えに及ぶことができる児童が少ない。	・友達の発表を聞き、違う考え方を理解する。	・友達の発表を聞くときに、聞く視点をしっかりと伝える。見通しをもち筋道を立てて考えていくために、言葉、数、式、図、表、グラフを用い、表現させる。
	数量的な考え方	・既習事項を使って自力解決をすることが定着していない。	・既習事項を使って説明する力を養う。	・導入で既習事項を確認してから自力解決を行う。
理科	数量的な考え方	・既習事項を使って自力解決をすることが定着していない。	・用具の上手な使い方を丁寧に指導し、正確に描ける喜びを味わわせる。	・用具の使い方を確認し、難易度の低いものから高いものなど、作図の機会を増やし、用具の扱いに慣れさせる。
	数量的な考え方	・既習事項を使って自力解決をすることが定着していない。	・基本的な計算能力を高めるとともに、その意味理解にも力を入れる。	・なぜその手順で計算すると答えが出るのかをきちんと考えさせ、意味を理解させる。
音楽	数量的な考え方	・既習事項を使って自力解決をすることが定着していない。	・問題解決場面で、一つの考えにとらわれてしまい、他の考えに及ぶことができる児童が少ない。	・「問題」「予想」「実験方法」「実験」「結果」「考察」「まとめ」の一連の問題解決的な学習の流れを定着させる。
	数量的な考え方	・既習事項を使って自力解決をすることが定着していない。	・身近な自然について、差異点・共通点という視点から考える力を身につけさせる。	・一つの事象に対して、観察を継続して行ったり、関連した資料を提示したりすることで、児童が比較し、差異点・共通点を見出すことができるよう工夫する。
図画工作	数量的な考え方	・既習事項を使って自力解決をすることが定着していない。	・実験や観察から結果のみ覚えようとして、その結果が示す内容までをまとめる場面で自分の言葉で表現することが苦手な児童が多い。	・課題に対しての予想を既習事項と関連づけて考えられるような発問や提示資料を工夫する。
	数量的な考え方	・既習事項を使って自力解決をすることが定着していない。	・自然の事物をあらゆる視点で見ることには慣れである。	・ノートのみまとめ方のモデルを示し、予想や考察の場面で根拠をもとに自分の考えを表現できるようにする。
体育	数量的な考え方	・既習事項を使って自力解決をすることが定着していない。	・十分に楽曲のよさやおもしろさを感じ取らせる	・リズム打ちや階名唱をさせ、十分に楽曲のよさやおもしろさを体得させ、自分なりの表現をさせる。
	数量的な考え方	・既習事項を使って自力解決をすることが定着していない。	・姿勢や構え方、タンギング、運指、奏法について確かな定着を図る。	・授業でリコーダーを吹く前に、必ず姿勢を確認する。そのうえで、リコーダーを演奏するときの基本的な構え方やタンギングなどを指導していく。
図画工作	数量的な考え方	・既習事項を使って自力解決をすることが定着していない。	・チームやグループで取り組むゲーム型運動では、勝敗にこだわる傾向がある。	・児童観察を丁寧にを行い、制作途中の作品について、他にない視点や発想で取り組んでいるものや、よく工夫しているものを取り上げ、全体で紹介する。
	数量的な考え方	・既習事項を使って自力解決をすることが定着していない。	・運動に対する意欲や、技能の個人差が大きい。	・制作途中において、グループの中で、お互いの作品の良さを見つけ合う鑑賞活動をする。
図画工作	数量的な考え方	・既習事項を使って自力解決をすることが定着していない。	・技能を高めるための話し合いが広がらず浅いとこで終わってしまう。	・ワークシート等を利用しながら個人やチームのめあてをたて、達成できるような授業の展開をし、勝敗だけでなく、運動そのものの充実感を味わわせる。
	数量的な考え方	・既習事項を使って自力解決をすることが定着していない。	・健康・安全についての知識・理解	・ペア活動を取り入れ、よい動きや改善すべき点を伝え合えるようにする。
図画工作	数量的な考え方	・既習事項を使って自力解決をすることが定着していない。	・健康・安全についての知識・理解	・振り返りの時間を設けることで、練習の仕方について思考を繰り返し行えるようにする。
	数量的な考え方	・既習事項を使って自力解決をすることが定着していない。	・健康・安全についての知識・理解	・動きのポイントを視覚的にとらえられる資料の提示を工夫したり、コーディネーショントレーニングを取り入れたりする。